

PRESS RELEASE

2023年9月19日
株式会社インターネットイニシアティブ

中電工、カメラとAIによる画像監視サブスクリプションサービス 「CaaS®(Camera as a Service)」に、IIJモバイルサービスを採用

当社は、株式会社中電工(以下、中電工)のカメラと AI による画像監視のサブスクリプションサービス「CaaS®(Camera as a Service)」の通信インフラとして、法人向け MVNO サービス「IIJ モバイルサービス」が採用されたことをお知らせいたします。

中電工の CaaS®は AI 搭載型の IP カメラを使った画像監視のサービスで、道路や河川など様々な場所の映像を送信・分析し、その内容を遠隔からリアルタイムで確認することが可能です。本年 5 月に開催された G7 広島サミット 2023 においては、期間中、要人が往来する広島県内の道路に同カメラが設置され、会場警備と交通量調査の一環として活用されました。IIJ モバイルサービスは、フル MVNO ならではの回線ステータスの切り替え(SIM の開通や中断・再開の制御)機能や、IoT カメラ用途のデータ通信に最適な上り(アップロード)優先機能等が評価され、CaaS®の通信インフラとして採用されるに至りました。

中電工の CaaS®は、幅広い対象や用途において画像監視・センシングを目的に開発され、その特徴の一つとして、サブスクリプション方式により IP カメラと AI が提供されています。例えば、大雨や台風の時期だけ河川の水位の変化を検知したり、建設工事期間中だけ立ち入り禁止箇所を監視して侵入を検知したりするなど、必要な季節や短期的な業務・イベント時に限って利用することもできます。IIJ モバイルサービスでは、SIM の開通や中断・再開を制御することが可能なため、通信が不要な期間のコストを削減することができ、CaaS®の通信コストの最適化を支えています。また CaaS®では IoT カメラの用途に最適な「上り優先機能」が採用されています。IoT カメラのデータ通信では、映像や画像など大きな容量のファイルをインターネット側へアップロードするため、上りのデータ通信量が多くなりがちですが、本機能により速度制限を気にすることなく、ご利用いただくことが可能になります。

なお、CaaS®での IIJ モバイルサービスの採用は固定設置型のカメラから開始され、今後は通信機能を搭載したウェアラブルカメラなど、中電工が提供する CaaS®の全サービス端末に展開される予定です。

中電工の CaaS®の通信インフラとして採用された IIJ モバイルサービスには、フル MVNO ならではの特性を活かした以下の機能があります。

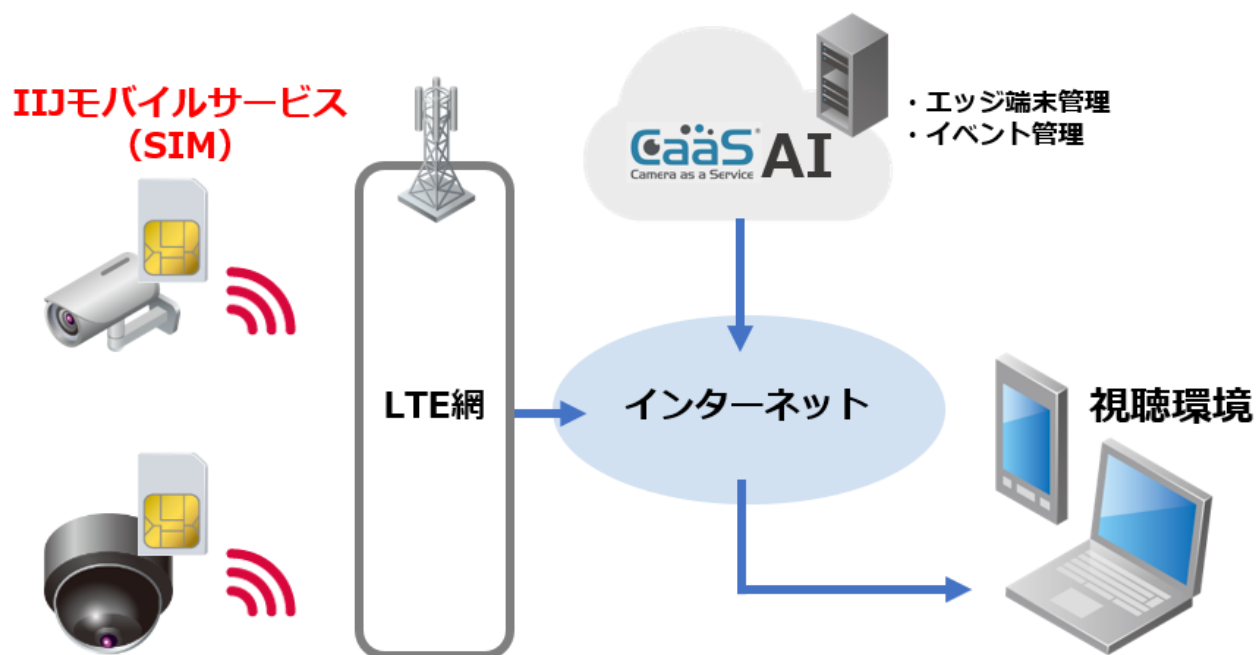
・回線ステータスの切り替えによる通信コストの最適化を実現

SIM ライフサイクル管理機能では、通信を行わない期間は回線ステータスを「アクティブ(通常)」から「スPEND(中断)」状態にすることができます。お客様は必要なタイミングで中断・再開を指定することができます。不要なコストを削減することが可能です。

・速度制限なく上り方向の大容量通信が可能

上り優先オプションを使用することで、上り方向の通信ではデータ通信量を消費しても速度制限は適用されません。画像や映像のアップロードなど上り方向の大容量通信が多い IoT カメラ用途に最適です。

サービスイメージ



当社は今後も、フル MVNO だからこそ実現可能な新しいビジネスモデルを積極的に展開し、IoT を活用する様々な業界のお客様のビジネスをサポートしてまいります。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 太田、荒井

TEL : 03-5205-6310 FAX : 03-5205-6377

E-mail : press@ij.ad.jp

URL : <https://www.ij.ad.jp/>

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。